



商店街まつり 歩行者天国 & 港町宇出津 灯りフェスティバル

宇出津商店街の活性化を目的に毎年実施されている「歩行者天国」と宇出津の町全体が2万個の灯りで彩られる「灯りフェスティバル」が9月20日に行われました。会場にはたくさんの方が詰めかけ、多彩なステージイベントや灯りの幻想的な雰囲気に魅了されていました。

【写真の説明】①～④神社仏閣の境内や広場などでは、町内会や団体などが趣向を凝らした灯りの演出を魅せた
①灯りコンテスト最優秀賞の桜会 ②優秀賞の音羽町内会 ③優秀賞の酒垂神社氏子青年会 ④音羽町町内会の立体的な演出 ⑤イベントの先陣を切って、しらさぎ・ひばり保育所園児が威勢よくお祭りごっこを披露 ⑥宇出津小学校6年生の鼓笛隊が商店街を練り歩いた ⑦能都北辰・能登高校は、文化祭ダンスコンクール上位入賞クラスのダンスを披露した



第23回 猿鬼歩こう走ろう 健康大会

猿鬼伝説ゆかりの地を歩いたり走ったりして楽しむ「猿鬼歩こう走ろう健康大会」は、9月20日に行われました。23回目を迎えた今年も、県内外から訪れた約1500人が、距離や年齢によって分けられた20部門にエントリー。それぞれの目標や体力に合わせて、さわやかな汗を流しました。

【写真説明】①歩こう5kmの部には子どもからお年寄りまでたくさんの方が参加した ②「のとどん」は、多文化共生推進をPR ③ゴール前のラストスパート。最後の力を振り絞る ④「交通安全」などのたすきをかけて参加する能登警察署の皆さん



【大会結果】

ハーフ 高校～49歳男子①中田武宏 1:14:52 ②田中陽世③中村圭宏
ハーフ 50歳以上男子①新出光男 1:26:24 ②横信一③山口勇治
ハーフ 高校生以上女子①西野直美 1:34:52 ②小倉清子③田中さゆり
10km 高校生～49歳男子①崎出光 0:35:54 ②北川昌秀③加藤保
10km 50歳以上男子①中村洋幸 0:37:16 ②岡田雅宏③寺谷内亮
10km 高校生～49歳女子①虎谷友江 0:44:44 ②田代のみ③野村江梨子
10km 50歳以上女子①酒谷洋子 0:47:50 ②山下富志子③大橋ひとみ
5km 高校生～49歳男子①垣内和彦 0:16:41 ②作田哲也③蒲池一也
5km 50歳以上男子①桜井康司 0:19:47 ②中村守③矢代菊雄

5km 高校生～49歳女子①中村友美 0:22:58 ②吉田由紀江③石田良子
5km 50歳以上女子①寺野友子 0:25:11 ②天方陽子③山本栄子
3km 高校生以上男子①喜作啓祐 0:10:32 ②毛利健志③川口剛
3km 高校生以上女子①信田紗由里 0:14:13 ②寺川美奈子③井上奈緒
3km 中学生男子①安保隆晟 0:11:02 ②蟹嶋③山下晃弘
3km 中学生女子①打越礼華 0:12:17 ②岡部侑花③信田有里彩
3km 小学生男子①長谷川翔大 0:12:04 ②中野遼③田村敏輝
3km 小学生女子①垣内叶和子 0:13:10 ②南安寿香③石田夏那



真脇小学校遺跡発掘体験
真脇遺跡でドキドキ発掘体験

真脇小学校6年生9人が9月14日、国指定史跡の真脇遺跡で発掘作業を体験しました。この発掘体験は、普段から遺跡の歴史や土器などを調べてきた真脇小学校児童に、自ら発掘を体験することで縄文文化と遺跡についてより深く知ってもらうことが目的です。

今回の発掘作業は、27年前の調査後に埋め戻された場所の一部約20㎡です。晴天の下、必死に発掘をした児童の足下からは、土器や石器のかけらなどが多く出土し、見つけた児童たちは大喜びの様子でした。



スコップを使って慎重に発掘作業をする真脇小児童

記念品を受け取る久田さん＝七見デイサービスセンターで



100歳のお祝い
老人の日を記念し、百歳を祝う

国・県は、毎年老人の日の記念事業として100歳になる人にお祝い状と記念品を贈呈しています。9月11日には、県の職員が本年度100歳になる久田松枝さん（鶴川）と角谷好枝さん（布浦）を訪ねて、内閣総理大臣からの記念品と県知事からのお祝い状などを手渡しました。

週に3回七見デイサービスセンターを利用している久田さんは明治43年生まれで、以前は三味線や踊りの先生をしていて、デイサービスでも歌うことが大好きだそうです。記念品を受け取った久田さんは、にっこりと笑ってお辞儀をしていました。

鶴川にわか祭
「我こそは弁財天の婿なり」

▶海瀬神社にわかが海瀬神社に集結すると、御幣を掲げ関係者が神事を行う

▼鶴川大橋をゆっくりと渡るにわか



弁財天を祀る海瀬神社の祭礼「にわか祭」が8月29日・30日に行われました。にわかには、各町内の絵師が中心となり約1週間かけて仕上げられた幅6尺高さ7尺の勇壮な武者絵が描かれています。午後9時前、見聞の浜に集結した9基のにわかには、その上に打ちあがった花火が終わるとともに動き出し、「やっさい、やっさい」と威勢の良いかけ声を響かせて町内を練り回りました。

午前0時、町内を練り回ったにわかには、海瀬神社へ集結し境内で乱舞します。にわかに描かれた武者絵はここで弁財天に婿入りするとされており、9基のにわかには「我こそは弁財天の婿なり」と勇壮に乱舞しました。

9月

まぐの出来事

金沢星稜大学吉川ゼミ
漁業と祭をテーマに意見交換

金沢星稜大学の吉川顕磨教授の専門ゼミの学生8人が、9月4日から2泊3日の地域社会実習で小木地区を訪れました。

5日には、同地区活性化センターで「男の料理教室」のメンバーらの指導で鮮魚を使った料理を体験したり、地区壮青年連合会と祭礼などについて意見交換を行いました。料理教室では、慣れない手つきでアジやスルメイカ、真鯛などをさばき、刺身や煮物、団子汁などを作って地元の人たちと舌鼓を打ちました。

学生たちは、漁業衰退の背景や後継者の問題など、食い入るように地元の人のお話を聞いていました。



手ほどきを受けながらスルメイカをさばく学生

大学生や高校生と話し合う金七さん(左列手前)



金沢星稜大学西村ゼミ
「能登井で地域活性化」を学ぶ

金沢星稜大学の西村千恵子教授のゼミ生15人は、8月10日から2泊3日の体験型ゼミナール活動のため来町しました。11日は能登高校で、能登井プロジェクトのリーダーである金七聖子さん＝松波＝を講師に、高校生も交えて地域活性化について話し合いました。金七さんは家業や能登井について講演。「人との出会いが地域の魅力に気付かせてくれる。人を通して地域を見直してみよう」と語りかけました。学生たちからは「人とのつながりが大切だとわかった」などの意見が上がりました。12日は、鉢伏山で下草刈りとブナ林散策を体験しています。

小木袖キリコ祭り
力を合わせて、迫力の宮入り

9月19日、小木地区の秋祭り「小木袖キリコ祭り」が行われ、勇壮な絵が描かれた巨大な袖キリコ9基が町内を練り歩きました。午後8時ごろ、小木港に集結した袖キリコは御船神社に向けて動き出します。袖キリコ祭りのクライマックスは午後11時から。御船神社に続く細く急な階段を、袖キリコが1基ずつのぼっていきます。危険を伴う運行でもあり、袖キリコが無事のぼり終えると観客から拍手が送られていました。9基すべてが御船神社に到着すると神事が行われ、再び急な階段をゆっくりとおりで各町内に戻って行きました。



約20分かけて袖キリコを引き上げる

地域の人と大学生が協力して担いだ野田の大キリコ



柳田大祭
巨大なキリコが闇夜を照らす

柳田の秋祭り「柳田大祭」は、9月16日に行われました。午後10時30分ごろ、神事を終え白山神社境内から出てきた5基の御輿は、野田の大キリコ（高さ12.5尺、重さ1.2ト）を先導として、ゆっくりと馬場に向かいました。キリコと御輿を待つ馬場では大松明に火がつけられ、男衆が御利益があるという御幣を奪い合っていました。

今年の柳田大祭は、金沢星稜大学のゼミ生が地域社会実習の一環として、祭りの準備から後片付けまでを体験。学生らはそろいの法被に身を包み、一生懸命キリコを担いでいました。